

令和5年度

尾瀬山の鼻・尾瀬沼ビジターセンター 運営記録

施設位置図		巻末資料	
尾瀬山の鼻ビジターセンター運営記録	… 1	ビジターセンター傷病者対応事例	…25
コラム「尾瀬ボランティア」	…11	尾瀬のできごとをふりかえる	…26
尾瀬沼ビジターセンター運営記録	…12	尾瀬のトピックス	…29
コラム「尾瀬自然解説ガイド」	…22	尾瀬保護財団の沿革と概要	…30
コラム「一般の方から寄せられた声」	…23	ビジターセンターの自然体験プログラム	

ビジターセンター位置図



尾瀬山の鼻ビジターセンター

〒378-0411 群馬県利根郡片品村大字戸倉字中原山 8 9 8 - 9



尾瀬沼ビジターセンター

〒967-0532 福島県南会津郡檜枝岐村字燧ヶ岳 1 番地



ビジターセンターまでの交通案内

尾瀬山の鼻ビジターセンターまでは・・・

- ・群馬県片品村の鳩待峠から徒歩で約 60 分。
- ・鳩待峠まではふもとの戸倉から乗合バス・タクシーで約 25 分

尾瀬沼ビジターセンターまでは・・・

- ・福島県檜枝岐村の沼山峠休憩所から徒歩で約 60 分
- ・沼山峠まではふもとの御池から乗合バスで約 20 分

令和5年度 尾瀬山の鼻ビジターセンター運営記録

I. ビジターセンター管理運営

群馬県が設置した尾瀬山の鼻ビジターセンター（以下、山の鼻VC）の管理運営を平成8年度から受託しています。

1. 運営期間

- (1) 職員駐在：令和5年4月17日(月)～令和5年11月6日(月) (204日間)
- (2) 開所期間：令和5年5月16日(火)～令和5年10月31日(火) (169日間)
- (3) 休館日：なし

- ・4月17日～5月15日 除雪、展示等の開設準備、公衆トイレ管理。
- ・11月1日～11月6日は公衆トイレ管理、閉設作業等。

※開設期間中は、新型コロナウイルス covid-19 感染拡大防止対応の「滞留時間の短縮、及び触れない展示」を、すべて従来に戻して展示しました。

2. 取扱時間

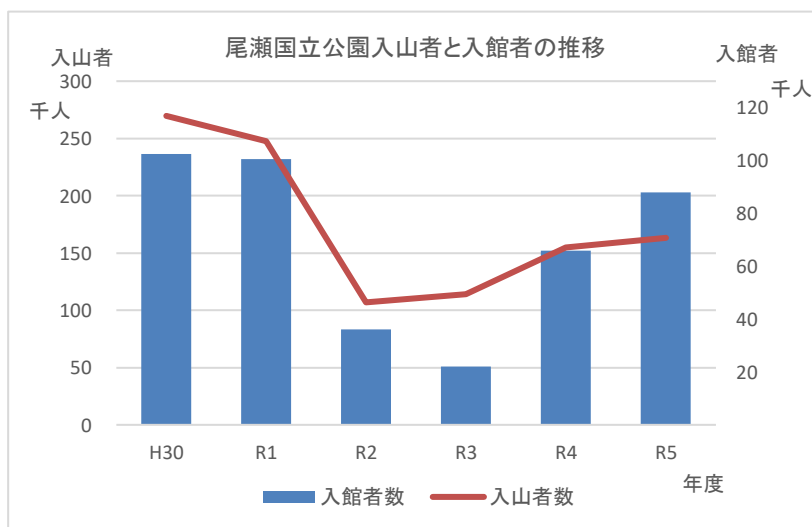
- (1) 施設開館 7:00～18:00
※10/23～10/31の間は8:00～16:00
- (2) 窓口案内 7:30～16:00
※窓口案内については利用者の状況に応じて柔軟に対応しています。

3. 入館者数

87,966人 ※尾瀬国立公園入山者 163,499人

過去5年間の入館者数と尾瀬国立公園入山者数 (単位:人)

	入館者数	尾瀬国立公園入山者数
令和4年度	65,897	(154,724)
令和3年度	22,013	(113,795)
令和2年度	36,156	(106,922)
令和1年度	100,517	(247,700)
平成30年度	102,550	(269,700)



4. 職員構成

(1) 人数 8人

(2) 構成

職	氏名	主な分掌業務
所長	西澤政春	全体統括
副所長	笹原宗利	統括補助、登山道整備、施設管理、物輸関係
副所長	新保正利	統括補助、シカ・クマ対策、気象機器管理、登山道整備
管理員	渡辺直子	情報管理、月次報告管理、共同生活管理
管理員	山田慎	産廃管理、傷病記録、燃料管理
管理員	川畑修	清掃・点検管理、日次報告管理、備品設備管理
管理員	天津祐子	金銭管理、消耗品管理、館内展示管理、ボランティア関係
管理員	稲村幸大	登山道整備、遺失物管理、各記録管理

※情報収集、自然解説、窓口対応等は全員で実施

II 自然解説事業

尾瀬を訪れる利用者に、自然とのふれあいを通じて尾瀬にふさわしい利用方法を啓発するとともに、豊かな自然の大切さを意識してもらうことを目的としています。

そのため、山の鼻VC内の展示室及びレクチャールーム、野外掲示板等を利用し、入山者に対する自然解説及び利用案内を実施しました。

※新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類感染症に移行したため、従来の自然解説活動を実施しました。

- ・スライドショー：レクチャールーム入場者数制限を解除。
- ・観察会：参加人数制限を解除。

表 令和5年度 自然解説活動のまとめ

区分	自然観察会	スライド ショー	環境学習 ミカドツア-	団体 レクチャー
参加者数(人)	385(253%)	1,022(191%)	107(108%)	302(137%)
実施回数(回)	41(47)	45(40)	43(33)	11(8)

※表中カッコは、上段(%)が前年度比、下段(数値)が前年度実施回数実績

1. 自然観察会(写真1)

土日、祝日を中心に、尾瀬植物研究見本園をフィールドとして実施しました。

- ① 実施場所：尾瀬植物研究見本園
- ② 実施時期：7:15～8:00
- ③ 担当者：山の鼻VC職員

2. スライドレクチャー(写真2)

自然観察会と同様の期間で開催しました。主に山小屋宿泊者を対象とし、季節写真や図表等、プレゼンテーションソフトを用いて解説することで、尾瀬への理解を深めてもらいました。

- ① 実施場所：山の鼻VC内のレクチャールーム
- ② 実施時期：18:00～18:45
- ③ 担当者：山の鼻VC職員

3. 環境学習ミニガイドツアー

山の鼻VC周辺での解説者（ガイド）付きの自然観察を含む環境保全施設見学ミニツアー（環境学習ミニガイドツアー）を実施しました。

- ① 実施日：5/20より10/9までの期間
- ② 実施場所：山の鼻VC周辺の県有施設、研究見本園及びその周辺
- ③ 実施時期：一行程あたり60分程度
- ④ 担当者：山の鼻VC職員及び尾瀬ボランティア

4. 団体レクチャー

事前に依頼を受けた学校関係者や尾瀬を勉強している社会人グループに対して、スライドレクチャーや自然観察会を開催し、環境保全の取り組みや自然への理解を深めていただきました。

5. 館内解説

館内展示物の利用案内を含めた解説を、来訪者の依頼に応じて職員が実施しました。

6. 展示

- ① 植物の開花状況、鳥などの観察ポイント、登山道の危険箇所などの最新情報。
- ② VC建物の内外に天候・最高最低気温・各種注意報等の気象情報。
- ③ 写真による代表的な植物や、尾瀬内各地域の様子。
- ④ 写真を使った時節ごとの観察ポイントの紹介。
- ⑤ バス・電車など公共交通機関の発着時刻等の情報。
- ⑥ ニホンジカの生態や尾瀬への影響とその対策等。合わせて頭骨、毛皮を触れられるよう展示。
- ⑦ 野鳥コーナーに鳴き声タッチペン設置し、写真にセンサーを貼ることで視覚聴覚の両方でわかりやすい展示にしました。
- ⑧ ツキノワグマの生態や目撃情報、対策等。合わせて頭骨、毛皮を触れられるよう展示。
- ⑨ 尾瀬国立公園のレリーフマップ。
- ⑩ 尾瀬のセグメント別(虫・鳥・両生類等)の写真と解説のコーナー。
- ⑪ 従来の剥製展示(ツキノワグマ、野ウサギ、キツネ)の他「尾瀬の生き物たち」として草津VCより譲り受けた剥製コーナーを新設。
- ⑫ 来訪者が自ら操作可能なプロジェクターを使用した情報展示システム。※9月末よりVRによる「尾瀬散策」の試験運用に差し替え。
- ⑬ 尾瀬保護財団としてのイベント情報。

その他、様々な情報を常により良いレイアウトで行い、花の情報用写真の更新、情報展示システムの更新などにも着手しました。

7. 自然情報等の収集・提供

利用者への情報提供や解説資料充実のため、職員が定期的に尾瀬ヶ原、至仏山、アヤメ平を巡回し、登山道や動植物の状況を調査しました。その結果を「尾瀬情報」としてまとめ、尾瀬周辺の各施設、財団ホームページ、関係各機関へ提供しました。

また、毎朝の天候、最低最高気温、学校団体の入山情報及び、毎日のトピックスを「今朝の尾瀬山ノ鼻」「今日の尾瀬」として毎日、ブログで情報発信を行いました。

Ⅲ. その他の公園施設等の維持管理（写真3）

尾瀬保護財団では、山の鼻V Cの他に、群馬県が整備した、山の鼻公衆トイレ（山ノ鼻地区）、竜宮公衆トイレ（竜宮地区）および群馬県所管の木道・橋等を、平成8年度から管理受託しています。

1. 山の鼻公衆トイレ

山の鼻公衆トイレ及び、合併浄化槽の管理状況は以下のとおりです。

①. 供用期間

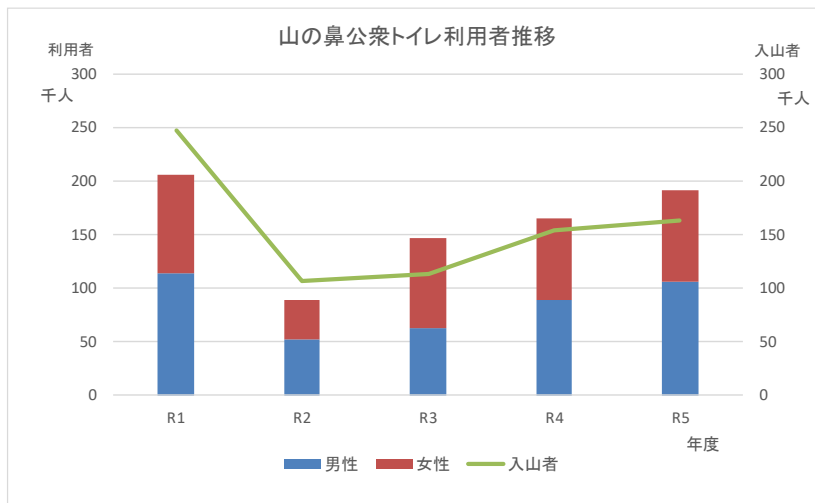
令和5年4月21日～令和5年11月5日（199日間）

※4月21日～5月15日、10月23日～11月5日の間は男女共用として開設

②. 利用者数(単位：人)

令和5年度の山の鼻公衆トイレ利用者数は、前年度比116%

年度	男性	女性	計	入山者
令和5年度	106,182	86,334	192,516	163,499
令和4年度	89,023	76,642	165,665	154,724
令和3年度	54,715	42,144	96,859	113,795
令和2年度	52,605	37,080	89,685	106,922
令和1年度	114,032	91,859	205,891	247,700



(7) 清掃、点検

1日1回の定時清掃のほか、9:00、11:00の定時点検を実施し、きめ細かな清掃を行うことで快適な利用環境に配慮しました。また、施設周辺の美化巡回も含めてゴミのない公衆トイレをめざしました。

(イ) 点検

清掃、定時点検の他、繁閑を考慮したペーパー補給や巡回を行い、快適な環境を維持しました。

(ウ) 合併処理浄化槽の維持

専門業者による定期的な保守・点検作業のほか、異臭や異状の有無を把握するように努めました。

(イ) 啓発活動

トイレ施設の環境保護に対する取り組みの紹介、協力金についての掲示を作成しました。

2. 竜宮公衆トイレ

竜宮公衆トイレ及び、合併処理浄化槽の維持管理業務を専門業者により実施しました。
職員は、定期的に協力金の回収と清掃やその他管理状況の点検を行いました。

3. 木道、登山道

群馬県管理道のうち、老朽化等により通行に支障がある箇所について、状況を確認しながら補修を行いました。また、登山道の危険個所に注意看板を設置しました。

①. 横田代地区

通行時の危険箇所の補修及び、滑り止めの栈木を要所に設置しました。

②. 八木沢道

土砂崩れ箇所や橋板流失箇所に注意看板を設置しました。

IV. 植生復元等の事業の実施

1. 荒廃した湿原の植生復元作業地の経過観察

群馬県尾瀬保護専門委員会からの依頼を受けて、平成 16～18 年度に施工した植生復元作業地の回復状況についての経過観察を巡回時に実施しました。

①. 実施場所：横田代 標高約 1,880m 付近

②. 実施回数：巡回時随時

③. 実施内容：平成 18 年度に設置した観察区(5 区)について経過観察としての写真撮影

2. 至仏山保全対策の各種取り組み（写真 4）

当財団が設置する至仏山保全対策会議において、植生保護・登山者安全の観点から、至仏山東面登山道を山ノ鼻登山口からの上り利用とし、下りでの使用は禁止としているため、注意看板の設置など啓発活動を実施しました。

山の鼻 V C では各登山口への注意看板の設置、各山小屋等への情報提供を行い、東面登山道の踏み出し防止柵の設置・撤去及び、登山道の補修作業については、財団事務局員とビジターセンター勤務者で作業を実施しました。

V. 巡回活動の実施

歩道の安全確認、自然情報・利用情報収集、利用者への案内・解説・啓発、美化清掃等を目的に実施しました。

1. 巡回のエリアと頻度

①. 竜宮方面 : 1 回/週

②. 見晴方面 : 1 回/週

③. 赤田代方面 : 1 回/週

④. 三条ノ滝方面 : 2 回/月

⑤. 至仏山方面 : 2 回/月

⑥. 長沢道～アヤメ平方面 : 1 回/月

⑦. 八木沢道～アヤメ平方面 : 1 回/月

VI. その他

1. 収入金の管理

パンフレット協力金、募金、公衆トイレチップ等による現金収入を集計・管理しました。また、寄付のお礼として自作の缶バッジを作成し、随時寄付のお願いを掲示しました。

2. 山の鼻ビジターセンターの開所 5月16日 (写真5)

本年度の山の鼻VCの開所式は、昨年と同様近隣の関係者のみで行いました。

3. 尾瀬ボランティアの活動支援

シーズン当初から入山口啓発活動や、シーズン終盤の「ありがとう尾瀬清掃活動」のコーディネート、現地での自然解説ボランティア活動の支援を行いました。(尾瀬ボランティアについては、P.11のコラムを参照してください)

4. 傷病事故の対応 (写真6)

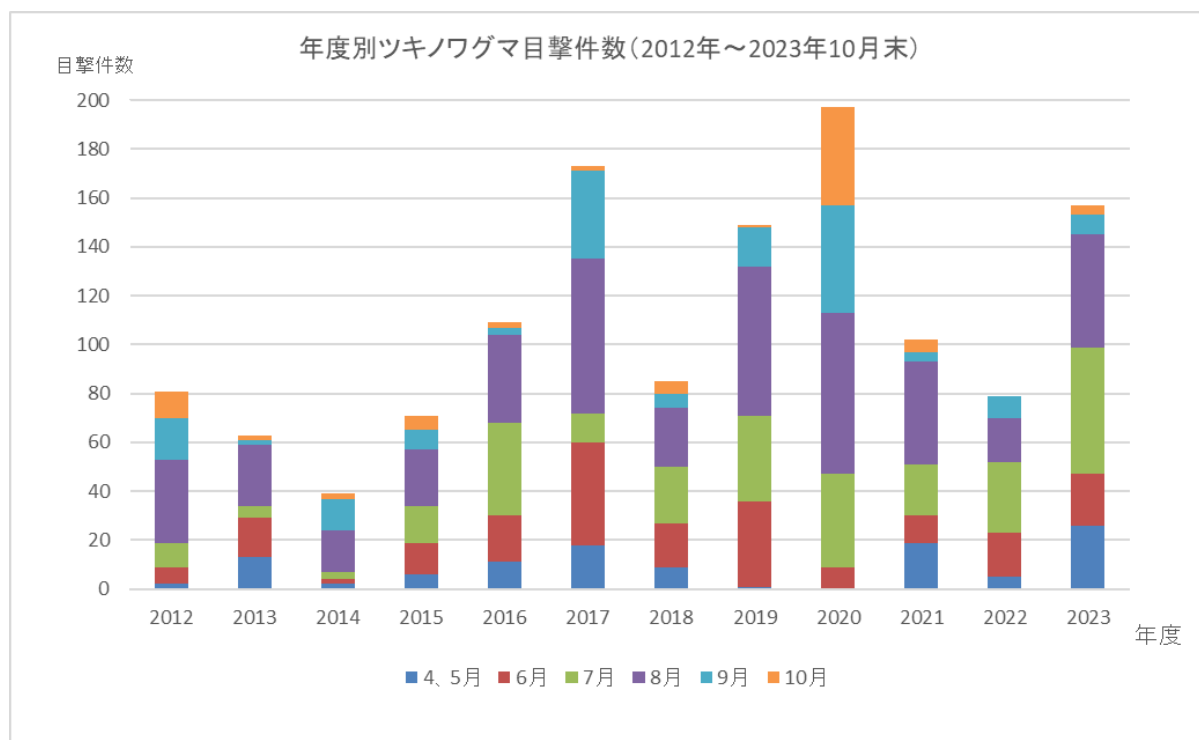
山の鼻VCで扱った今年度の傷病事故件数は26件ありました。山の鼻VC窓口での簡易な手当や、片品村遭難対策救助隊の臨時隊員として協力した件数が含まれます。※H18年度(9月中旬)よりAED(体外式自動除細動器)を山の鼻VCに設置。

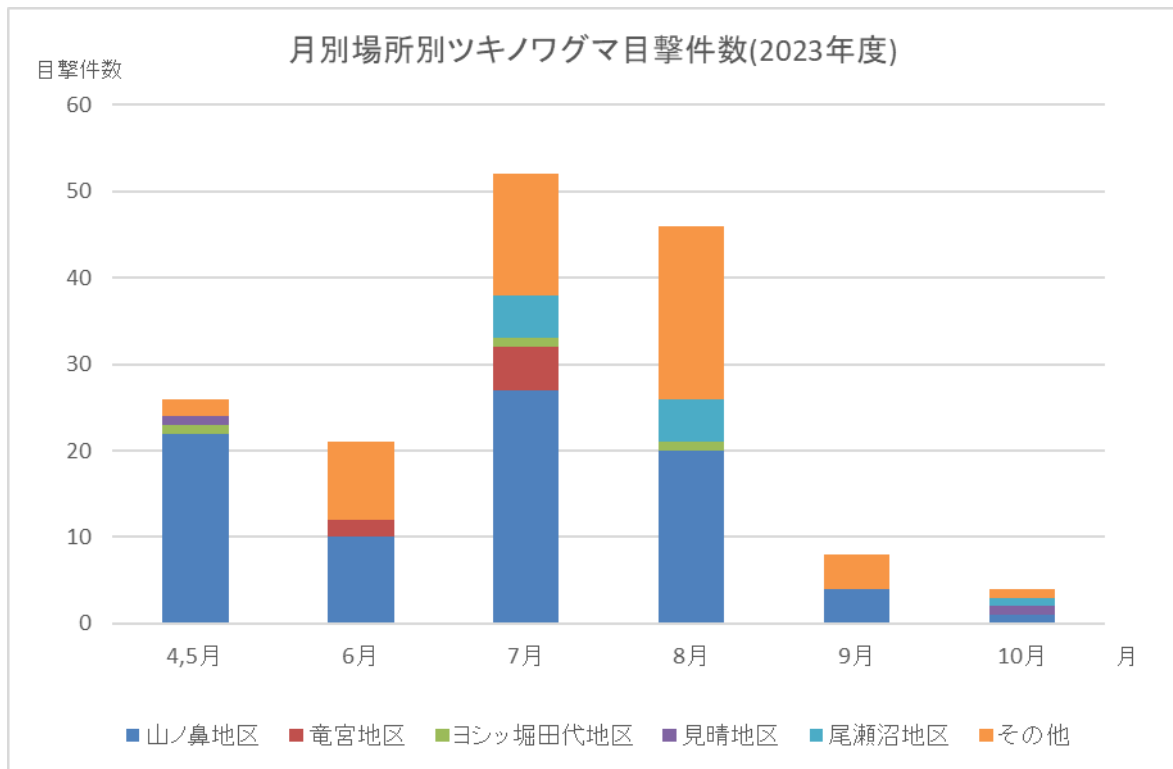
尾瀬ヶ原地区(群馬県側)救助体制の流れを整理し、迅速な救助体制が整えられるよう準備しています。(救急連絡系統図、対応等作成)(巻末資料1「傷病者対応事例」P.22もあわせてご覧ください)

5. ツキノワグマ対策 (写真7)

ツキノワグマ対策員に任命された職員が、ツキノワグマ出没対応マニュアルに基づいて対策を行いました。職員は令和5年5月14日にツキノワグマ対策研修を受講し、同6月3日に対策員が轟音玉講習を受け、ツキノワグマに対する知識と対策について準備を進めました。

また、一般客からの目撃情報の収集や普及啓発、笹や葦などの刈払い作業等の他、巡視や追い払いを行うとともに、ミズバショウの結実時期である7月下旬から8月上旬まで研究見本園の一部を除き閉鎖し、入山者の安全を図りました。





6. ゴミの計量及び域外搬出

群馬県のゴミ処理方針に基づき、山の鼻VCから発生したゴミは、尾瀬地域から域外搬出して処理しました。なお、今年度の総搬出量は556 kg（前年度538 kg）となりました。

7. 定時気象観測

5月16日～10月31日までの毎日、9時と15時の定時に山ノ鼻地区に設置した気象観測機器で気温・風速などの観測を行いました。

8. ニホンジカ対策（写真8）

群馬県尾瀬保護専門委員会からの依頼を受け、深刻化するニホンジカによる湿原植生等の食害被害を把握するために、研究見本園付近（背中アブリ田代地区）の攪乱地においてシカ柵の設置・撤去を行い、定期的な巡視・点検を実施しました。

9. 山の鼻VC30周年記念イベント（写真9）

平成5年の設置から今年で30周年の記念イベントをビジターセンターのレクチャールームで開催しました。司会にランドネ編集長の安仁屋氏、スピーカーには尾瀬を代表する写真家の新井幸人氏、山小屋に荷物を運び続け、近年YouTubeでも人気の歩荷萩原雅人・五十嵐寛明氏を招き開催いたしました。



(写真1)

【自然観察会】

土日、祝日を中心に、研究見本園をフィールドとして実施。

時間：7:15～8:00



(写真2)

【スライドレクチャー】

土日、祝日の前夜を中心に、山の鼻VCのレクチャールームにて実施。

時間 18:00～17:45



(写真3)

【施設等の維持管理】

木道や施設の状態に応じて、簡易な補修を実施。

(公衆トイレ男子小便器フラッシュバルブ交換5基)



(写真4)

【至仏山保全対策の取組】

踏み出し防止柵の設置
至仏山東面登山道、笠ヶ岳の一部で実施。(至仏山東面登山道)



(写真5)

【尾瀬山の鼻VC開所式】

5月16日。近隣の関係者を招待して開催。(山VC前)



(写真6)

【傷病事故の対応】

傷病者発生のため消防に救急要請。防災ヘリコプターへの救助ポイント指示、研究見本園の通行止めなど救助作業を補助。
(研究見本園)



(写真7)

【ツキノワグマ対策の取組】

人とツキノワグマが不意に遭遇する危険を減らすため、刈り払いを実施(研究見本園)。



(写真8)

【ニホンジカ対策の取組】

尾瀬ヶ原でのシカ柵の設置
(背中アブリ方面の湿原)。



(写真9)

【VC30周年記念イベント】

「尾瀬の魅力について」語る
左から安仁屋氏、新井氏、五十嵐氏、萩原氏。

コラム 尾瀬ボランティア

～ ビジターセンター運営充実を目指すパートナー ～

全国から集まるボランティア

尾瀬ボランティアは主に利用者に対する自然保護思想の普及啓発、美化清掃を行うために（公財）尾瀬保護財団が募集を行い、平成8年6月から組織されています。呼びかけの結果、全国から**260**人が登録され活動しています。

多くの活動形態

尾瀬ボランティア活動には大きく分けてプロテクターの活動と、インタープリターの活動があります。それぞれの主な活動メニューは次のとおりです。

（プロテクターの活動）

入山口（鳩待峠、沼山峠、大清水等）での啓発活動
入山口周辺や尾瀬ヶ原・尾瀬沼周辺等での美化巡回
外来植物除去作業、シカ柵設置・撤去作業 等

（インタープリターの活動）

お話しボランティア活動（定点解説）
環境学習ミニガイドツアー 等

現在の登録状況

260人（令和5年12月31日現在）

内訳：18都府県（群馬県**93**人、東京都**32**人、埼玉県**24**人、千葉県**16**人、神奈川県**19**人他）
平均年齢 **65.5**歳（最年長**93**歳、最年少**23**歳）

尾瀬ボランティアの取り組み

令和5年度の活動 ・入山口啓発 18日（参加者延べ34人）
・ありがとう尾瀬清掃活動 参加者18人
・自主ボランティア活動 60件

年度	主な取組状況
平成8	尾瀬クリーン大作戦（以降「ありがとう尾瀬清掃」として継続）
平成9	鳩待峠路上駐車防止（現在は休止）
平成10	至仏山登山道整備（以後継続）
〃	沼山峠に「尾瀬ボランティア活動詰所」設置
平成11	植生復元開始（平成15年度までは至仏山、16～18年度は横田代、19年度は燧ヶ岳、22～27年度は至仏山で実施）
〃	啓発活動従事者講習会
〃	尾瀬ボランティア帽子配布
平成12	県道沼田檜枝岐線の植生回復作業（～平成13年度）
〃	お話しボランティア用の旗作成
平成13	鳩待峠に「尾瀬ボランティアハウス設置」
平成16	各入山口ボランティアハウスに活動用の腕章を配備
平成18	至仏山巡回ボランティア（以降「尾瀬巡回清掃」として平成26年度まで実施）
〃	ごみ清掃ボランティア（山ノ鼻地区で実施。19年度は沼尻地区で実施）
平成19	ビジターセンター支援ボランティア活動開始
平成29	三平峠付近での栈木打ちボランティア活動開始
平成30	鳩待峠での群馬県看板の色塗作業の実施
〃	大江湿原でのシカ柵設置・撤去補助作業開始
令和3	研究見本園でのシカ柵撤去補助作業開始

～ 尾瀬ボランティアのみなさま、これからも充実した運営のためにご協力をお願いします ～

令和5年度 尾瀬沼ビジターセンター運営記録

I. ビジターセンター管理運営

環境省の所管施設である尾瀬沼ビジターセンターの管理運営を平成8年度から受託しています。
(但し、平成26年度を除く。)

1. 運営期間

- (1) 職員駐在：令和5年5月10日(水)～令和5年11月2日(木) (177日間)
- (2) 開所期間：令和5年5月13日(土)～令和5年10月31日(火) (172日間)
- (3) 休館日：なし

※5月10日～5月12日は開所準備等、11月1日～11月2日は閉所作業等です。

2. 取扱時間

- (1) 施設開館 7:30～16:00
- (2) 窓口案内 7:30～16:00

3. 入館者数

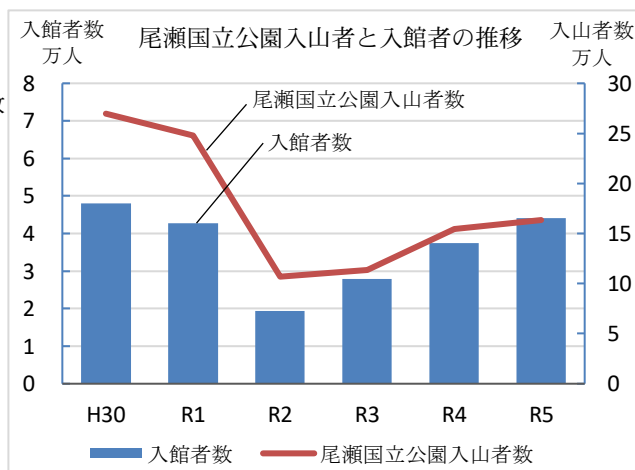
44,177人

※参考(尾瀬国立公園入山者 163,499)

過去5年間の入館者数と尾瀬国立公園入山者数

	入館者数	尾瀬国立公園 入山者数
令和4年度	37,472	(154,724)
令和3年度	27,824	(113,795)
平成2年度	19,293	(106,922)
令和元年度	42,819	(247,700)
平成30年度	48,099	(269,700)

(単位:人)



4. 職員構成

- (1) 人数 8人
- (2) 構成

職	氏名	主な分掌業務
責任者	阪路善彦	全体統括、事務局調整、勤務・休暇管理、金銭出納簿
副責任者	齋藤孝	統括補助、月報報告、拾得物管理、用品管理、トイレチップ集計
副責任者	馬場大祐	統括補助、月報報告、ヘリ対応、防火管理、日誌管理
管理員	玉田英司	作業・展示記録、燃料管理、パンフレット、植生復元・外来種
管理員	八幡直輝	イベント企画、機関誌、収入金、シカ・クマ対応、食事管理
管理員	高瀬一也	アンケート管理、情報発信、ボランティア支援
管理員	伊藤信一	電話対応記録、入館者数、ゴミ管理、回覧物管理、
管理員	大内梨江子	窓口対応、団体レクチャー、公衆トイレ管理、傷病記録

II. 自然解説事業等

利用者に向けて尾瀬にふさわしい利用方法を啓発するとともに、豊かな自然の一端に触れ、自然の大切さを認識してもらうことを目的とし、ビジターセンター周辺とビジターセンター館内の展示室、レクチャールーム室及び掲示板等を利用し、自然解説や利用案内等を実施しました。

表 令和5年度 自然解説活動のまとめ

区分	自然観察会	夜のイベント	拡大イベント		見晴イベント	団体レクチャー
			星空観察会	その他		
参加者数(人)	1,041	938	354	94	17	538
(前年度)	(569)	(448)	(171)	(61)	(42)	(343)
実施回数(回)	394	39	28	3	3	24
(前年度)	(380)	(38)	(23)	(6)	(6)	(21)

※1 表中カッコは、前年度の数值。

※2 自然観察会には、尾瀬を感じるミニツアー、朝イチ観察会を含む。

※3 拡大イベントには、星空観察会の他にお月見会、ナイトハイク、トークショー、尾瀬 de 早起き野鳥観察会を含む。

※4 見晴休憩所が閉鎖中なので、見晴休憩所を使わない形で見晴ナイトハイクと見晴観察会を実施しました。

1. 自然観察会（写真1）

(1) 尾瀬を感じるミニツアー

- ① 実施場所：大江湿原や尾瀬沼ビジターセンター周辺
- ② 実施時間：毎日午前 9:00～9:30、午後 12:30～13:00（午前午後、各1回）
- ③ 担当者：尾瀬沼ビジターセンター職員

(2) 朝イチ観察会

- ① 実施場所：大江湿原や尾瀬沼ビジターセンター周辺
- ② 実施時間：土日祝日の朝 7:30～8:15
- ③ 担当者：尾瀬沼ビジターセンター職員

2. 夜のイベント

(1) 夜のスライドショー（写真2）

- ① 実施場所：尾瀬沼ビジターセンターのレクチャールーム
- ② 実施日：金土の夜及び祝前日の夜 19:00～19:45
- ③ 担当者：尾瀬沼ビジターセンター職員

3. 拡大イベント

(1) 星空観察会（写真3）

- ① 実施場所：尾瀬沼ビジターセンター周辺
- ② 実施時間：6月～8月 夜 19:30～20:15
9月～10月 夜 19:00～19:45
- ③ 担当者：尾瀬沼ビジターセンター職員

(2) ナイトハイク (写真4)

- ① 実施場所：大江湿原と浅湖湿原
- ② 実施時間：7月30日(日)、8月10日(木)及び9月8日(金)の夜 19:00～20:00
- ③ 担当者：尾瀬沼ビジターセンター職員

(3) トークショー「歩荷さんのお仕事」 (写真5)

- ① 実施場所：尾瀬沼ビジターセンターのレクチャールーム
- ② 実施時間：9月17日(日) 19:00～19:45
- ③ 講師：(歩荷) 五十嵐寛明さん、萩原雅人さん

(4) 尾瀬 de 早起き野鳥観察会 (写真6)

- ① 実施場所：尾瀬沼第2展望台
- ② 実施時間：7月20日(木) 4:00～6:00 と 6:30～9:00 の2回
- ③ 講師：福島県尾瀬保護調査会 猪狩先生

4. 見晴イベント

(1) 見晴ナイトハイク

見晴地区から尾瀬ヶ原に出ると空を遮るものがなく、星空観察に好適です。満天の星とともに尾瀬の魅力を発見してもらうために、このイベントを開催しました。

- ① 実施場所：見晴地区周辺
- ② 実施時間：7月14日(金)、8月18日(金)の夜 19:30～20:15
9月15日(金)の夜 19:00～19:45
- ③ 担当者：尾瀬沼ビジターセンター職員

(2) 見晴観察会

- ① 実施場所：見晴地区周辺
- ② 実施日：見晴ナイトハイク実施日の翌朝 7:30～8:45
- ③ 担当者：尾瀬沼ビジターセンター職員

5. 団体レクチャー

事前に依頼を受けた学校関係者や尾瀬を勉強している社会人グループに対して、DVD上映、スライドショーや自然観察会を開催し、環境保全の取り組みや自然への理解を深めていただきました。

12 団体 (538 名)

6. ビデオ上映

レクチャールームにて尾瀬の四季を紹介した「尾瀬国立公園の四季」(約18分)や「尾瀬国立公園の誕生」(約18分)などのビデオを随時上映しました。

7. 館内解説

V C開館時間中は、展示室内に人員を配置し、随時館内展示物の利用案内を含めた解説を実施しました。

8. 常設展示（一部抜粋）

① 尾瀬国立公園について	⑭ 尾瀬に生息する動物たち (尾瀬にやってきたニホンジカ)
② 尾瀬の成り立ち	⑮ 尾瀬に生息する動物たち (毛皮・剥製標本)
③ 湿原と泥炭	⑯ 尾瀬に生息する動物たち (ホンドオコジョ、ニホンヤマネ)
④ 尾瀬の花	⑰ 尾瀬ネイチャーツアーデスク
⑤ 尾瀬の野鳥	⑱ 尾瀬情報 (巡回等で収集した情報を掲示)
⑥ 尾瀬の哺乳類	⑲ 今咲いている尾瀬の花
⑦ 尾瀬の昆虫・両生類・魚類	⑳ インフォメーション (イベント情報・交通情報等)
⑧ 標本展示（ツキノワグマ）	㉑ マナー・禁止事項
⑨ 尾瀬の歩荷 (リアルな歩荷さんの装備の紹介)	㉒ 映像スライドショー
⑩ 尾瀬の歴史	㉓ 空から見た大江湿原
⑪ 尾瀬の自然環境を守る取り組み	㉔ フォトグラフコーナー
⑫ 尾瀬沼周辺の最新情報	㉕ フィールド情報・天気予報
⑬ 立体地図	㉖ 書籍コーナー

9. 企画展示

次の企画展示を行いました。

① 福島県尾瀬保護調査会の調査報告	④ ビジターセンターおすすめスポット (職員おすすめスポットの紹介)
② 燧ヶ岳登山道情報 (各コースの登山道の様子を紹介)	⑤ 尾瀬沼案内図
③ 尾瀬の春・夏・秋	

10. 自然情報等のリアルタイムな収集と発信

巡回範囲の尾瀬沼を中心とした地域や巡回範囲外の会津駒ヶ岳、帝釈山・田代山等の自然情報や利用情報等の収集を行い、得られた情報を利用者及び関係機関等に提供しました。巡回範囲外の尾瀬ヶ原地域については、尾瀬山の鼻V Cなどの関係機関と協力し情報の収集と発信を行いました。収集した情報は、V C館内での掲示及び配布、ブログ、Facebook、twitter等のインターネットに

より利用者へ提供しました。また、山小屋や入山口周辺の掲示板や施設、関係機関へは尾瀬山の鼻VC及び財団本部などと連携し、紙面や電子ファイルなどにより情報を提供しました。

Ⅲ. 巡回活動の実施

自然情報の収集、歩道の状況確認、美化清掃等を目的に下記区域を巡回しました。

No	巡回区域	頻度(目標)	実施回数
①	尾瀬沼方面	1回/2週	11回
②	大清水方面	1回/2週	12回
③	燧ヶ岳方面	1回/2週	11回
④	沼尻～見晴方面	1回/2週	11回
⑤	燧裏林道方面	1回/2週	10回
⑥	大江湿原・小淵沢田代方面	毎日	172回
⑦	会津駒ヶ岳方面	—	8回
⑧	帝釈山・田代山方面	—	4回
⑨	道行沢・御池方面	—	—
⑩	白尾山・皿伏山方面	—	1回

Ⅳ. 施設管理及びその他の業務

1. 傷病者発生時の対応 (写真7)

檜枝岐村遭難対策協議会(尾瀬沼地区本部:尾瀬沼ヒュッテ)の指示により、尾瀬沼地区周辺で発生した傷病者の対応を行いました。対応した件数は以下のとおりです。なお、切り傷等の窓口対応のみの事象も含まれています。

計: 10件(うち、担架搬送1件、ヘリ搬送3件)

2. 危険箇所の掲示

巡回などで危険と判断した箇所について、必要に応じて除雪や注意喚起看板、またはロープ柵の設置を行いました。また湿原への踏み込み防止のために、必要に応じてロープ柵等の設置を行いました。また、自然災害等による被害が発生した場合には、現地に注意喚起看板を設置するとともに、関係機関等に迅速な情報提供を行いました。

3. 非常時における公園利用者の誘導及び安全措置の実施

台風や豪雨等の接近時に、朝方に木道・登山道などの巡視を行い、冠水・倒木等の状況を確認して迅速に関係機関への情報提供を行いました。今シーズンは台風等の接近はなく、被害もありませんでした。

また、その他の緊急時においても利用者への情報提供及び注意喚起看板の設置等の必要な対策を行いました。

4. ニホンジカ捕獲業務の補助作業（写真8）

尾瀬沼周辺で行われるニホンジカ捕獲業務において、シカセンサー受信機による反応の有無確認作業やシカセンサーに反応があった場合、現場へ赴いてニホンジカ捕獲の有無を確認、状況報告を行いました。またツキノワグマが錯誤捕獲されている場合も現場確認、状況報告を行い、放獣作業では、安全のために現場周辺を立ち入り禁止にするなどの補助作業を行いました。

V. 尾瀬沼ビジターセンター職員が兼務したその他の事業

1. 尾瀬沼集団施設地区公衆便所清掃等業務

尾瀬沼地区運営協議会から委託を受け、尾瀬沼公衆便所の清掃業務等を行いました。

2. 沼尻地区公衆トイレ施設清掃等業務

檜枝岐村と尾瀬沼地区運営協議会から委託を受け、沼尻公衆トイレの清掃業務等を行いました。

2. 福島県特植事業

(1) 尾瀬地区植生復元調査等業務（写真9）

福島県地域における尾瀬地区植生復元事業として、雪圧により沈下した調査杭の引き起こし等の管理、外来植物及び平地性植物除去及び堀の清掃作業、シカの食害影響調査等を行いました。

3. 財団自主事業

(1) 尾瀬ボランティア活動支援

入山口啓発活動（沼山峠口、滝沢登山口、馬坂峠登山口、猿倉登山口）においてボランティア活動支援を行いました。

(2) 外来植物対策事業（写真10）

外来植物オオハンゴンソウの増殖を防ぐために、7月に小沢平口にて関係機関と連携し除去活動を行いました。

(3) 大江湿原シカ侵入防止柵設置及び撤去作業（写真11）

大江湿原へのニホンジカの侵入を防止するために、関係機関と連携して、6月にシカ侵入防止柵の設置作業を行い、10月に撤去作業を行いました。



(写真1)

【自然観察会】

日中、尾瀬を感じるミニツアー等を大江湿原や尾瀬沼ビジターセンター周辺で実施。

・尾瀬を感じるミニツアー：

毎日 9:00～ 9:30

毎日 12:30～13:00

・朝イチ観察会

土日及び祝日 7:30～8:15



(写真2)

【夜のライドショー】

尾瀬沼ビジターセンターのレクチャールームにて実施。

土日及び祝日の前夜

19:00～19:45



(写真3)

【星空観察会】

尾瀬沼ビジターセンター周辺で星空観察会を実施。

天気がよくない時は、レクチャールームにて星空解説を実施。

7月～ 8月：19:30～20:15

9月～10月：19:00～19:45



(写真4)

【ナイトハイク】

ナイトハイクでは、夜の大江湿原と浅湖湿原を歩き暗闇を体験してもらい、また夜のニホンジカの生態を観察しました。



(写真5)

【トークショー】

尾瀬の歩荷さんを講師にお招きしてトークショーを実施。

9月17日(日) 19:00～19:45



(写真6)

【尾瀬 de 早起き野鳥観察会】

福島県尾瀬保護調査会の猪狩先生をお招きして野鳥観察会を実施。

7月20日(木)

- 1回目 4:00～6:00
- 2回目 6:30～9:00



(写真7)

【傷病者発生時の対応】

傷病者を防災ヘリコプターのところまで担架搬送したり周辺の木道を通り止めにしたりするなどの補助作業を実施。

(大江湿原)



(写真8)

【ニホンジカ捕獲業務の補助】

シカセンサーに反応があった場合に、現場に向かいシカ捕獲を確認した後、環境省担当官に報告。

(大江湿原周辺)



(写真9)

【福島県植生復元調査】

植生復元調査業務のひとつとして丈堀清掃を実施。

(見晴地区)



(写真10)

【外来植物駆除】

小沢平口付近にて、関係者と協力して外来植物オオハンゴンソウの駆除作業を実施。

(小沢平口付近)



(写真11)

【シカ侵入防止柵設置】

関係機関と協力してシカ侵入防止柵を設置。

(大江湿原周辺)

コラム 尾瀬自然解説ガイド

～ビジターセンターのサポート～

尾瀬自然解説ガイドとは ～自然に親しむお手伝い～

主に滞在時間の短い入山者を対象にした自然解説のためのガイドです。自然に親しむとともに、マナーの向上を図り、尾瀬の適正な利用を推進することが目的です。尾瀬ボランティアとしても活動するガイドが、ビジターセンターを起点・終点として案内を行い、参加料は1人当たり600円～1,800円です。この参加料金は、保険料や緊急時の無線機購入などの事務費に充てています。

活動の意義 ～尾瀬を深く理解してもらうために～

尾瀬サミット2002で、尾瀬におけるガイドの役割とガイド資格の課題が議論されたことをきっかけに、財団のガイド事業への取組が始まりました。財団では、尾瀬に対する理解を深めてもらうためには、尾瀬の自然の素晴らしさを実感してもらうことに加え、尾瀬の自然保護に対しても十分理解してもらうことが必要だと考えています。ガイドは、尾瀬の魅力や大切さを掘り下げて利用者に伝えることのできる担い手です。尾瀬自然解説ガイドの利用を通じて、多くの入山者に貴重な尾瀬の自然を体感してもらえよう活動を続けています。

活動の実績

年度	合計利用者数(人)	尾瀬ヶ原ガイド利用者数(人)	尾瀬沼ガイド利用者数(人)
H18	240	190	50
H19	252	245	7
H20	452	448	4
H21	294	290	4
H22	292	292 (内尾瀬学校は 113)	0
H23	239	197 (内尾瀬学校は 135)	42
H24	642	450 (内尾瀬学校は 372)	192
H25	890	633 (内尾瀬学校は 558)	257 (内環境学習は 255)
H26	155	155 (内尾瀬学校は 122)	—
H27	487	477 (内尾瀬学校は 415)	10
H28	379	322 (内尾瀬学校は 256)	57
H29	458	444 (内尾瀬学校は 321)	14
H30	355	341 (内尾瀬学校は 194)	14
R1	274	263 (内尾瀬学校は 151)	11
R2	16	16 (内尾瀬学校は 16)	0
R3	covid-19 感染拡大防止のため、中止		
R4	4	4	0
R5	9	6	3

信頼される自然解説ガイドを目指して ～質の高いガイドの人材を確保～

ガイド事業の成否を決めるのは、ガイドの質そのものです。尾瀬自然解説ガイドでは、IP（インタープリテーション）研修を受講済みの尾瀬ボランティアの方を対象に、導入研修を実施し、レポートの提出・現地研修をもって、ガイド認定を行っています。現在15名のガイドが登録されています。

また、催行中の事故等にも対応できるよう、3年おきに救急救命講習の受講を義務づけたり、既認定者対象の技術研修を実施したりするなど、ガイドレベルの維持向上に努めています。

ビジターセンターとの連携 ～利用者の安全のために～

尾瀬自然解説ガイドは無線機を持ち歩き、ビジターセンターと連絡を取り合っています。それは、ビジターセンターにガイド状況を適切に伝えることにより、ガイド利用者の安全を確保していくためです。尾瀬はラムサール条約に登録され、また単独の尾瀬国立公園に指定されたことにより、さらなる注目を集めています。安心して安全な尾瀬利用を確保するため、安全確保に対するガイドの質も重要になっていくことでしょう。～ ビジターセンター利用者みなさま、これからも充実した運営のためにご意見をお願いします。

コラム 一般の方から寄せられた声

～ビジターセンターに寄せられた声から～

尾瀬山の鼻ビジターセンター抜粋

○展示室を見て

- 僕はアカアシクワガタの姿を観察しました。顕微鏡でアカアシクワガタの体を見られてうれしかったです。
- 触れる物や顕微鏡があり子供が楽しんでいました。
- ビジターセンターの皆さまが尾瀬の自然保護に取り組んでいる姿に敬意を表します。これからもどうぞご尽力ください。
- 動物の剥製がすごくリアルに作られていてよかったです。動物の毛皮が触れてよかったです。動物の骨や卵があってすごく良かったです。
- 誕生日で尾瀬に来ました！オコジョが見たいー！

○スライドレクチャーに参加して

- 自然保護活動の取り組みについて、湿原を一踏みで10年後退！！が響きました。
- 夕飯が終わってから、ちょうどよく充実した時間でした。尾瀬について、少し詳しくなったような気がします。
- 季節によって大きく変化する様子が分かり植物、景色等、四季の様子を見に来たいです。
- 尾瀬の保全の歴史やゴミ持ち帰り運動はなるほどと思いました。全国で広がると良いですね。
- 水の処理をどうしているのか気になっていたのを知ることができて良かったです。子供は動物が好きなので、クマやオコジョの写真、動画を見られて良かったと思います。
- アヤメ平に行ってみたくくなりました。
- 環境保護に大きな努力がいることがわかりました。尾瀬を楽しむ者として楽しみながら協力して行けたらと思います。
- アヤメ平の池塘当たりのネットが気になっていたの、大変勉強になりました。
- 動物や植物の写真はとても楽しく、環境についてのお話はとても勉強になりました。(ひと踏み10年が印象的でした)クマの対処法はちょうど気になっていたの嬉しかったです。
- テレビで尾瀬の四季はよく放映されているが、自然を守る裏側の説明が自然を守る活動の理解につながりとても良かった。この内容をテレビで放映したらと思う。

尾瀬沼ビジターセンター抜粋

○展示室を見て

- 今見頃の花の情報などが写真付きでわかりやすい。
- 展示が充実、写真も素晴らしい、特に鳥の声の展示が素晴らしい。
- リニューアルされてとてもきれいです。展示が季節や時期によってわかりやすい。
- 地区別に分けられた尾瀬情報がわかりやすくてありがたかった。大きな地図とリンクさせたらもっとわかりやすいかと思う。
- 尾瀬のことがわかりやすく展示されていた。
- 湿原の成り立ちや動物たちのことについて、詳しくわかりやすく紹介されていた。

○ミニツアーに参加して

- 群馬県と福島県の県境の話に驚いた。いろいろマメ知識を知ることができてよかった。
- 尾瀬のことをもっと知ることができた。木道のことも色々知ることができた。
- 昔ダム計画があったが、反対してくれたおかげで、今現在、私たちがこの風景を見ることができる。
- 尾瀬の自然を守るために大変な努力をしていることがわかった、私たちはもっとこの自然を大切にしないといけないと思った。
- 通過してしまうところを色々教えてもらって、尾瀬への知識や理解が少し深まった。
- たくさんの花や木道についての豆知識、燧ヶ岳がよく見えるビュースポットなど、たくさん教えてもらえて、すごくすごく楽しかった。あつという間だった。尾瀬に来たらまた参加したい。

○夜のスライドショーに参加して

- 四季折々の尾瀬の動植物や自然を見られてよかった。環境保全の取り組みは説明されないとわからないので、この機会に知ることができてよかった。
- 湿原を踏むと環境破壊になることやアイゼンのことなど知らずにやっている人は多いと思うので、どんどん広めていくべきだと思う。
- 尾瀬の四季の風景や動物を紹介するスライドを想像していたが、勉強会のような内容だった。想像とは違ったが勉強になり、尾瀬の事がよく分かった。
- オコジョが可愛くて意外と小さかった。チングルマが尾瀬にあるとは思わなかった。
- 環境保全の継続に感謝しかない。四季折々の姿を見たいと思うほど写真が美しかった。
- 自然の中に人がお邪魔しているので、この自然は人の手で守らなければならないと思った。
- 尾瀬についての知識が増えた。いろいろな取り組みについて子供に知って欲しいと思った。
- 自分たちではなかなか見つけられない動植物が見られて楽しかった。トイレの仕組みもよく理解できた。
- 尾瀬に来るたびにイベントに参加しているが、担当者が変わると内容も異なり大変面白い。

○歩荷さんトークショーに参加して

- 歩荷さんが仕事を楽しんで続けていることを知り、嬉しかった。体に気をつけて欲しい。
- 歩荷さんの人柄が良くて、益々感謝の気持ちが深まった。
- 生の歩荷さんの話が聞けて大変よかった。
- 歩荷さんが、ほぼ毎日、山小屋に食材を届けてくれるからこそ、山小屋で美味しい食事がいただけることにありがたみを感じた。

○星空観察会に参加して

- 事前に解説があってから実際に星空を観察したため、解説通りの満天の星が広がっていて感動した。
- 夜の湿原の美しさ、星をしっかりと見ることができてよかった。
- 星がきれいでもよい尾瀬の思い出になった。レーザーポインターもあってよかった。
- 暗闇の中での湿原散歩は、それだけでも貴重な体験だった。
- 星空に改めて興味が湧いた。また星空を見上げたい。
- 北斗七星、はくちょう座など、自分ではわからなかった星座を見ることができて嬉しい。
- 星座について由来から丁寧に教えてもらえて楽しかった。

巻末資料 1

令和 5 年度 ビジターセンター傷病者対応事例

尾瀬山の鼻ビジターセンター対応事例

発生場所	対応内容
山の鼻公衆トイレ付近	転倒し左足大腿部を痛め、救急要請後ヘリコプターで搬送。
原の川上川橋付近	木道で転倒、左肋骨骨折の疑い。冷却及び三角巾で胸部圧迫固定後ヘリ搬送。
ヨッピー吊橋付近	木道で転倒、右肩脱臼の疑い。三角巾固定後ヘリ搬送。
テンマ沢～山ノ鼻間	木道で転倒、右足首上部骨折の疑い。保温処置後地上搬送。
鳩待峠～山ノ鼻間	木道で転倒、右足大腿部副木及び三角巾による固定。救急車要請。
牛首付近	木道で転倒、三角巾による固定、ヘリ搬送。
山の鼻 VC	急な発熱。保温及び頭部冷却後ヘリ搬送。
上ノ大堀川橋付近	木道を踏み外した際、荷物の重みで腰部損傷。ヘリ搬送。

山の鼻 VC での傷病対応件数 26 件

尾瀬沼ビジターセンター対応事例

発生場所	対応内容
小沼湿原付近	木道上で転倒、VC 職員が尾瀬沼山荘まで担架搬送し、救助隊に引き渡した。
尾瀬沼ビジターセンター	過労のため VC 内で倒れ、ヘリ搬送。
長英新道登山口付近	木道上で転倒、腰部打撲、ヘリ搬送。

尾瀬沼 VC での傷病対応件数 10 件

卷末資料 2

－令和 5 年度 尾瀬のできごとをふりかえる－

5月に新型コロナウイルスが5類感染症に移行されたことにより、尾瀬の入山者も増えたものの新型コロナ感染拡大前の水準には戻っていません。

山ノ鼻に位置する研究見本園では、令和2年秋に設置された植生保護柵が令和3年秋に全体に延長され、春の設置時、秋の撤去時には企業ボランティアのみなさまと尾瀬ボランティアのみなさまに多数ご参加いただきました。

今年のツキノワグマ目撃件数は157件と昨年の79件に比べ約2倍に増加しました。ミズバショウの結実時期である夏にはツキノワグマが頻繁に出没することから、安全のために7月から8月上旬まで研究見本園を閉鎖しました。

尾瀬ヶ原周辺のできごと (尾瀬山の鼻ビジターセンター報告)		尾瀬沼周辺のできごと (尾瀬沼ビジターセンター報告)	
4月		4月	
17	開設準備のため上山(除雪作業)		
21	鳩待線開通 山の鼻公衆トイレ供用開始		
5月		5月	
8-9	管理員研修(県庁)	8-9	管理員研修(県庁)
10	上山	10	上山
14	ツキノワグマ研修(山VC、群馬県、環境省)	13	ビジターセンター開所
15	八木沢橋の橋板、注意看板設置	14	ツキノワグマ研修(山VC)
16	開所式(至仏山荘、山の鼻小屋、龍宮小屋、群馬県、尾瀬ボランティア、環境省)	16	ヘリコプター物資運搬
〃	遭難救助関係者打合せ(片品村、谷川岳警備隊、利根沼田東消防署)		
17	ヘリコプター物資運搬	17	巡回開始(大清水)
17-18	研究見本園植生保護柵設置		
20	第一ベンチ箇所植生保護柵設置 クマ鐘設置(テンマ沢湿原)	20	夜のスライドショー開始
21	背中アプリ、シラネアオイ植生保護柵設置		
27	ヨッピー吊り橋付近でツキノワグマによる人身事故発生 クマ鐘設置(見本園、原の川上川橋)	23	御池～沼山峠間シャトルバス運行開始
		29	消防訓練実施(1回目)
6月		6月	
		1	大江湿原シカ侵入防止柵設置
3	轟音玉講習会参加	3-4	轟音玉講習会参加
		11	帝釈山・台倉高山山開き 田代山山開き(猿倉)
		12	管理員研修(那須平成の森)

尾瀬ヶ原周辺のできごと (尾瀬山の鼻ビジターセンター報告)		尾瀬沼周辺のできごと (尾瀬沼ビジターセンター報告)	
16	消防訓練実施(1回目)	13	消防の予防査察
19	至仏山オヤマ沢田代 侵入防止柵設置	16	沼山峠ボランティアハウス設置
23	至仏山東面登山道植生保護柵設置	17	低公害車運行開始(大清水～一ノ瀬間)
29	至仏山東面登山道整備(刈払い、栈木)	19	管理員研修(那須平成の森)
		22	福島県植生復元作業(見晴等)
7月		7月	
1	至仏山山開き	1	会津駒ヶ岳夏山開き
2	笠ヶ岳登山道立入り防止柵設置 研究見本園閉鎖(至仏山東面登山道除く)	2	燧ヶ岳夏山開き
10	テンマ沢湿原、研究見本園入口付近のミズバショウ果穂刈取り(ツキノワグマ対策)		
15-16	研究見本園刈払い(ツキノワグマ対策)		
23	外来種駆除(オランダガラシ)		
27-28	外田代及び猫又川上流部調査隊入山		
29	横田代木道整備(栈木100本)	29	外来植物オオハンゴンソウ駆除(小沢平)
		30	ナイトハイク(1回目)
		31	福島県尾瀬保護調査会による植生調査(大江湿原)
8月		8月	
8	研究見本園刈払い(ツキノワグマ対策)	4	沼尻公衆トイレ供用開始
9	研究見本園閉鎖解除		
9-10	尾瀬シーズンスクール開催	10	ナイトハイク(2回目)
18	至仏山東面登山道整備(栈木、笹刈、蛇籠整備)		
22	リトリート・温泉文化に関する特別委員会来所	21-22	福島県尾瀬保護調査会による植生調査(大江湿原)
9月		9月	
5	黒スズメバチ巣駆除(公衆トイレ)	5	尾瀬沼地区停電
6	消防訓練(第2回)	7	尾瀬沼地区の山小屋意見交換会
8	台風13号関東地方接近(上陸前に熱帯低気圧に変わる)	8	関東地方環境事務所長現地視察 ナイトハイク(3回目)
9-11	IP研修		
12	十二山神祭(山の鼻小屋、尾瀬ロッジ、至仏山荘、龍宮小屋)	17	歩荷さんトークショー
13-14	尾瀬関係者による意見交換会	21	燧ヶ岳植生保護柵設置
16-17	シーズンズスクール		
22	VR試験導入	29	お月見会(中秋の名月)
10月		10月	
1	山の鼻VC30年記念イベント開催		

尾瀬ヶ原周辺のできごと (尾瀬山の鼻ビジターセンター報告)		尾瀬沼周辺のできごと (尾瀬沼ビジターセンター報告)	
3	オヤマ沢田代柵撤去	2	見晴丈堀清掃
8	ありがとう尾瀬瀬清掃活動	6	沼山峠展望台現地検討会
9	山の鼻公衆トイレ(女子側9基)閉鎖 シラネアオイ保護柵撤去 クマ鐘撤去(原の川上川橋)	12	群馬県議会議員尾瀬視察 沼山峠ボランティアハウス撤去
13	研究見本園植生保護柵撤去(山VC、財団事務局、尾瀬室、尾瀬ボランティア、企業ボランティア、星野組)	19	巡回最終日(会津駒ヶ岳)
14	笠ヶ岳立入り防止柵撤去 ありがとう尾瀬瀬清掃活動	21	大江湿原シカ侵入防止柵撤去 夜のスライドショー最終日
16	クマ鐘撤去(原の川上川橋)	22	低公害車両運行終了(大清水～一ノ瀬間)
17	立入り防止柵撤去(山の川上川橋周辺)	23	沼尻公衆トイレ閉所
18	ヘリコプター物資運搬 産廃の荷下げ	25	檜枝岐事務所閉所
20	至仏山侵入防止柵撤去 VCオーニング撤去 背中アプリ植生保護柵撤去作業	29	消防訓練実施(2回目)
22	女子トイレ閉鎖	31	ビジターセンター閉所
23	開館時間短縮 8:00～16:00 公衆トイレ男女共用		
25	水源地清掃(中間バック、水源地注水口)		
26	県有看板冬囲い養生(至仏山、見本園入口)		
27	沼尻川橋橋板撤去 KDDI電源切断作業		
29	県有看板冬囲い養生(尾瀬ヶ原入口)		
31	ビジターセンター閉所		
11月		11月	
2	管理員下山	2	全員下山
6	職員下山、戸倉～鳩待峠間の冬期閉鎖		
21-22	第一回冬期調査		

巻末資料 3

～ 令和 5 年度 尾瀬のトピックス ～

令和 5 年 (2023 年)

- ◇ 5 月 7 日 植生保護のため至仏山登山道閉鎖(期間: 5 月 7 日～6 月 30 日)
- ◇ 5 月 13 日 尾瀬 Instagram 投稿キャンペーン春編開始(第 1 回)
- ◇ 5 月 16 日 尾瀬山の鼻 VC で開所式を実施。
- ◇ 5 月 17 日～ 研究見本園の植生保護柵設置。企業ボランティア 26 名、尾瀬ボ
18 日 ランティア 10 名が参加。
- ◇ 5 月 23 日 尾瀬山開き(片品村尾瀬ぷらり館)
尾瀬御池～沼山峠間のシャトルバス運行開始。
- ◇ 6 月 1 日 遊覧船とバスを乗り継ぐ魚沼・尾瀬ルートの運行開始。
- ◇ 6 月 11 日 帝釈山・台倉高山山開き(馬坂峠登山口)
田代山山開き(猿倉登山口)
- ◇ 6 月 17 日 大清水～一ノ瀬間の低公害車両の運行開始。
(期間: 6 月 17 日～10 月 22 日まで)
- ◇ 7 月 1 日 尾瀬 Instagram 投稿キャンペーン夏編開始(第 2 回)
至仏山山開き
会津駒ヶ岳夏山開き
- ◇ 7 月 2 日 燧ヶ岳夏山開き
- ◇ 7 月 2 日 ツキノワグマ目撃多発により研究見本園を閉鎖(至仏山東面登山
道を除く)
- ◇ 7 月 22 日～ ふくしま尾瀬動画撮影教室ツアー「YouTuber の山下舞弓さん &
24 日 JEMMA さんと歩く!撮る!尾瀬沼ツアー」
- ◇ 7 月 25 日～ 親子自然体験ツアー「人気の山小屋泊!四角友里さん & 尾瀬認定
26 日 ガイドと会津駒ヶ岳へ」
- ◇ 8 月 9 日 ツキノワグマの目撃が減少したため、研究見本園の閉鎖を解除。
- ◇ 8 月 30 日 尾瀬 Instagram 投稿キャンペーン春編入選作品発表(第 1 回)
- ◇ 9 月 1 日 尾瀬 Instagram 投稿キャンペーン秋編開始(第 3 回)
- ◇ 10 月 1 日 山の鼻 VC 30 年記念イベント開催
- ◇ 10 月 6 日 至仏山と燧ヶ岳、会津駒ヶ岳で初冠雪
- ◇ 10 月 15 日 ふくしま尾瀬フォト & ムービーコンテスト受賞作品発表会(オン
ライン配信)
- ◇ 11 月 20 日 尾瀬 Instagram 投稿キャンペーン夏編入選作品発表(第 2 回)
- ◇ 12 月 21 日 環境省から令和 5 年度尾瀬国立公園の入山者数発表(訂正)。
入山者数 163,499 人で、コロナ前(2019 年)の約 66%。
- ◇ 12 月 26 日 尾瀬 Instagram 投稿キャンペーン秋編入選作品発表(第 3 回)

※尾瀬沼地区再整備工事の状況

- ・男子公衆トイレ及び詰所改修工事完了。
- ・旧尾瀬沼ビジターセンターは令和 6 年度から解体開始予定。

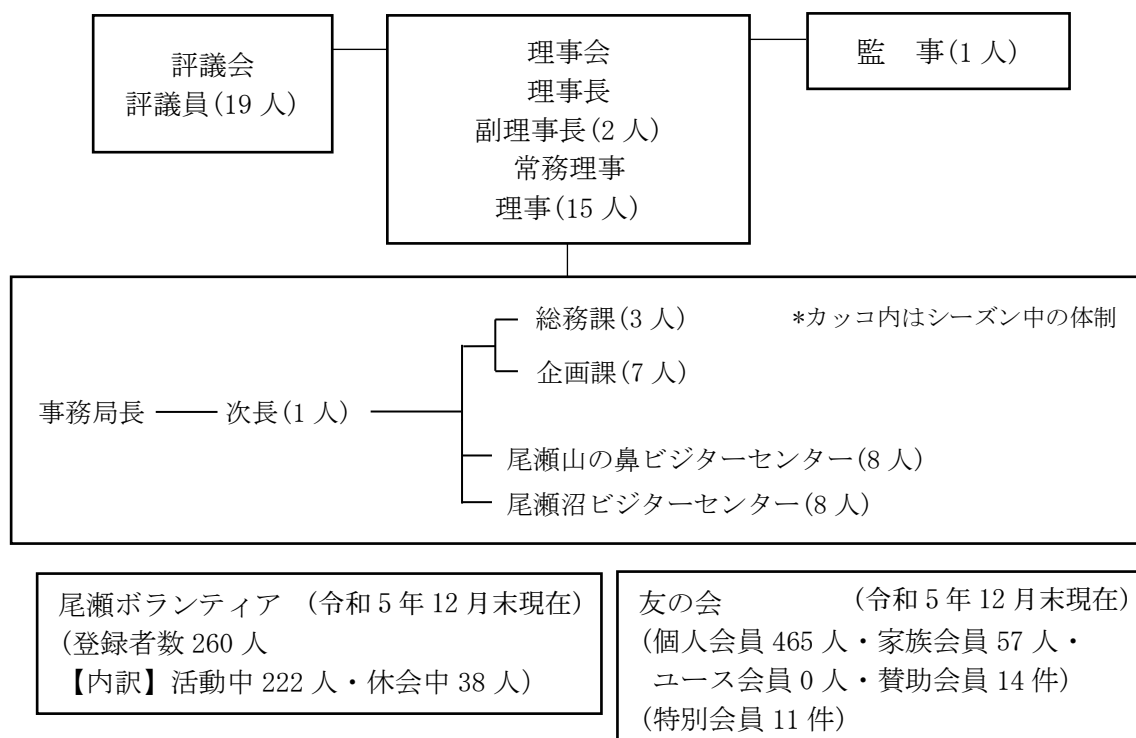
尾瀬保護財団の沿革と概要

財団の沿革

平成 4 年 8 月 4 日	福島・群馬・新潟三県知事による「尾瀬サミット」(尾瀬沼山荘)
平成 7 年 6 月 13 日	財団設立発起人会(東京都内)
〃 8 月 3 日	財団設立、第 1 回理事会(尾瀬沼ヒュッテ) 群馬県大友庁舎(前橋市大友町)に事務所設置
平成 8 年 5 月 15 日	尾瀬沼ビジターセンターの運営開始(環境庁から受託)
〃 5 月 18 日	尾瀬山の鼻ビジターセンターの運営開始(群馬県から受託)
平成 9 年 4 月 1 日	群馬県公社総合ビル(前橋市大渡町)に事務所移転
平成 11 年 7 月 13 日	特定公益増進法人に認定(財団への寄附につき税制上の優遇措置が受けられる制度。以後 2 年毎に認定を更新)
〃 9 月 3 日	群馬県庁(前橋市大手町)に事務所移転
平成 25 年 4 月 1 日	内閣総理大臣により「公益財団法人」への移行が認められる

財団の概要

- ・ 設立日 平成 7 年 8 月 3 日
- ・ 基本財産 約 15.1 億円(令和 5 年度末現在)
- ・ 主な事業 入山者啓発、自然解説、植生復元、施設管理、調査研究、顕彰事業など
- ・ 組織体制



施設概要

- ・ 尾瀬山の鼻ビジターセンター 設置者：群馬県
鉄骨木造 2 階建 延床面積 344 m² 平成 5 年築
展示室 69 m² レクチャールーム 80 m² 事務室 17 m²
- ・ 尾瀬沼ビジターセンター 設置者：環境省
鉄骨造 2 階建 延床面積 676 m² 令和 2 年築
常設展示室 108 m² 企画展示室 50 m² レクチャールーム 49 m²
事務室・会議室 95 m²

この冊子について

この冊子は、公益財団法人尾瀬保護財団が受託運営する尾瀬山の鼻と尾瀬沼の両ビジターセンターの令和3年度実績報告をまとめたものです。活動の概要を関係者へ報告するとともに、今後の運営資料として活用するために作成しています。

☆集計方法について

ビジターセンター入館者数 公衆トイレ利用者数

- ・ 施設に設置されているセンサーで自動計測した結果をそのまま集計しています。
- ・ 停電等により計測に不具合があった場合は、適宜補正しました。また自動計測のため、例えば行列や感知器の前に障害物がある場合には実際との誤差が発生しますが、これについては補正していません。

その他

- ・ 比率（％）で示した数値は、すべて小数点以下第2位を四捨五入しています。
- ・ 本文中に「VC」とある場合は、「ビジターセンター」と読み替えてください。

令和5年度

尾瀬山の鼻・尾瀬沼ビジターセンター運営記録

令和6年3月

〒371-8570 群馬県前橋市大手町一丁目1番1号

公益財団法人 尾瀬保護財団

Tel (027)220-4431

fax (027)220-4421

ホームページアドレス <https://oze-fnd.or.jp/>

E-mail アドレス info@oze-fnd.or.jp

ビジターセンターの 自然体験プログラム

— お問い合わせは —
公益財団法人 尾瀬保護財団
 〒371-8570 群馬県前橋市大手町 1-1-1
 TEL 027-220-4431
 FAX 027-220-4421
 E-mail : info@oze-fnd.or.jp

ビジターセンターでは利用者に尾瀬の自然の大切さを知ってもらい、マナーを守りながら利用してもらうためのさまざまなイベントを開催しています。

ビジターセンターは山ノ鼻（尾瀬ヶ原の入口）と、尾瀬沼の東畔にあります（表紙裏の地図参照）。散策前には是非立ち寄ってみてください。

※ 天候等により実施しない日もありますので、事前に財団へお問い合わせください

窓口	展示
スタッフが尾瀬のことにお答えします 窓口時間 山の鼻 VC 7:30～16:00 尾瀬沼 VC 7:30～16:00	尾瀬のことがわかりやすくまとまっています。 開館時間 山の鼻 VC 7:00～18:00 尾瀬沼 VC 7:30～16:00
尾瀬情報	ビデオ上映
花の見頃や登山道の様子が毎週更新されています。 お出かけの前にチェックしてみてください。 尾瀬情報は尾瀬保護財団ホームページでも掲示しています。 URL https://www.oze-fnd.or.jp/	尾瀬のビデオが上映されています。 山の鼻ビジターセンターで上映 Hi-Vision「驚異の食虫植物モウセンゴケ」(20分) Hi-Vision「トンボ」(18分) Hi-Vision「クモ」(18分) 「尾瀬その成り立ちとしくみ」(16分) 「尾瀬はふるさと一空を渡る生き物たち」(10分) 尾瀬沼ビジターセンターで上映 「尾瀬国立公園の四季」(16分) 「尾瀬沼の四季」(13分)
セルフガイド	*ほかにもさまざまなビデオがあります。
一人でも自然観察ができるガイドマップが揃っています。 「鳩待峠～尾瀬ヶ原」「研究見本園」「大清水～尾瀬沼」 「アヤメ平」「尾瀬沼」などがあります。	
自然観察会	スライドショー
一緒に湿原へ出てみましょう！ 周辺の湿原で動植物の観察をしながら散策をします。 山の鼻 VC 7:15～8:00, 尾瀬沼 VC 9:00～9:30 12:30～13:00 等 ※ 開催時期についてはお問い合わせください。	スライドのはなしを聞きながら尾瀬の不思議を知る 「今日のショーはあるの？」と利用者から尋ねられる程の定番企画です。まずは参加してみてください。 土日祭日の前夜 山の鼻 VC : 18:00～18:40 尾瀬沼 VC : 19:00～19:45 ※ 開催時期についてはお問い合わせください。
企画展示	団体レクチャー
尾瀬を深く知るための特別展示です。 ※ 開催時期・内容についてはお問い合わせください。	グループで尾瀬を学びたいので、案内して欲しい事前に申込みのあった団体には、観察会やスライドショーなどのプログラムを実施しています（要予約）。
尾瀬自然解説ガイド	拡大イベント（尾瀬沼 VC にて実施）
実施日を限定して、自然解説ガイドが短時間のガイドをします（コース限定、有料、要予約）。 ※ 開催日についてはお問い合わせください。	星空観察会やナイトハイクなどの他に専門家をお招きして、より深く専門性の高いイベントも実施しています。 ※開催時期についてはお問い合わせください。
お話しボランティア	
平日の休憩ベンチには個性豊かな解説ボランティアがいます。 ※開催時期や内容についてはお問い合わせください。	

この他、ビジターセンターに関する色々な情報は、尾瀬保護財団のホームページをご覧ください。